

教育長報告

1 報告事項

平成18年第2回沖縄県議会(2月定例会)における質問・答弁概要について

2 事項の説明

- 平成18年2月15日に開会した平成18年第2回沖縄県議会(2月定例会)における代表質問、一般質問において主に次のような質問等があった。

主な質問事項

- (1) 高校卒業予定者の就職内定状況について：親川盛一、當山眞市
- (2) 不登校対策について：親川盛一
- (3) 子どもの登下校時の安全確保について：親川盛一、渡嘉敷喜代子、糸洲朝則、吉田勝廣、当山全弘、照屋守之
- (4) 携帯電話の取扱について：渡嘉敷喜代子
- (5) 2学期制導入について：渡嘉敷喜代子
- (6) 教育基本法について：渡嘉敷喜代子
- (7) 「新たな少人数教育システム」の導入等について：糸洲朝則
- (8) 教員サポーター制について：糸洲朝則
- (9) 小・中学生の自然体験、職場体験、本物の文化芸術に触れる機会について：糸洲朝則
- (10) 環境体験学習及び体験学習情報体制の整備について：糸洲朝則、瑞慶覧朝義
- (11) 「未来教育プラン授業」等について：糸洲朝則
- (12) 奨学金および留学制度の拡充について：糸洲朝則
- (13) 編成整備計画と総合学科の設置について：糸洲朝則
- (14) 市町村の合併と小中校の統廃合について：糸洲朝則
- (15) 鏡ヶ丘養護学校の遊歩道の拡充整備について：糸洲朝則
- (16) 学校施設の耐震化について：當山眞市、新垣良俊
- (17) 敷地内全面禁煙について：當山眞市
- (18) 学校における喫煙防止教育について：當山眞市
- (19) 少年非行対策について：當山眞市、吉田勝廣
- (20) 特別支援教育について：當山眞市、外間久子、嶺井光
- (21) 学校における食育について：當山眞市、比嘉京子、當山弘、新垣良俊
- (22) 児童の生活習慣の現状について：比嘉京子
- (23) 学校における血液成分検査について：比嘉京子
- (24) 八重山商工高等学校の春の選抜高校野球大会への出場の意義を伺う：比嘉京子
- (25) 学力調査等の結果の認識と対策について：比嘉京子

- (26) 教職員の病気休職の実態について：比嘉京子
- (27) 女性教師の妊娠出産に係わる問題の解決について：比嘉京子
- (28) 精神疾患の病休明けの職場復帰支援体制について：比嘉京子
- (29) 服装指導とその成果について：吉田勝廣、当山全弘
- (30) 児童生徒の最近の活躍状況について：吉田勝廣
- (31) 就学援助をうけている児童・生徒の状況と対応について：前田政明
- (32) 授業料減免制度について：前田政明、喜納昌春
- (33) 基地使用協定の締結に向けての嘉手納高等学校からの意見書について：瑞慶覧朝義
- (34) 教職員評価システムの実施について：瑞慶覧朝義、奥平一夫
- (35) 教職員のメンタル疾患について：瑞慶覧朝義
- (36) 中途退学と就学支援センターについて：瑞慶覧朝義、奥平一夫
- (37) 中高一貫教育校について：狩俣信子、内間清六、照屋守之
- (38) 小学校での語学指導について：狩俣信子
- (39) 労働基本権の学習について：外間久子
- (40) 教員の多忙化について、奥平一夫
- (41) 授業料、給食費の未納について、奥平一夫
- (42) 教職員の定員管理について：玉城義和
- (43) 競技施設の整備と審判員等の養成について：新川秀清
- (44) 幼児教育について：安里進
- (45) 道徳教育について：嶺井光
- (46) 海外派遣教育について：嶺井光
- (47) 外国語教育について：嶺井光
- (48) 栄養教諭について：新垣良俊
- (49) 美術館、博物館の運営形態と入館者数等について：國場幸之助

このうち、「子どもの登下校時の安全確保について」「特別支援教育について」「学校における食育について」「中高一貫教育校について」の答弁要旨は、次のとおりです。

(3) 子どもの登下校時の安全確保について

質問要旨： 政府は子どもたちの登下校時の安全確保を図るため6項目からなる緊急対策をまとめている。6項目の内容と教育委員会の対応を伺う。

答弁要旨： 昨年12月、国においては、犯罪対策閣僚会議が開催され、児童生徒の登下校時の安全確保のために、緊急対策6項目が示されました。

その内容は、第一に、全通学路の緊急安全点検。第二に、全ての学校における防犯教室の開催。第三に、地域の情報共有体制の立ち上げ。第四に、学校安全の

ためのスクールガードの充実。第五に、路線バスを活用した安全確保。第六に、国民に対する協力の呼びかけとなっております。

県では、平成18年度当初予算に約一千万円を計上し、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を実施する予定であります。

なお、同事業において、スクールガードの養成講座、警察官OB等による巡回指導、モデル地域を指定した実践的な取り組みを、行うこととしております。

(20) 特別支援教育について

質問要旨： 小中学校における特別支援教育について体制整備はどのようになっていますか。

答弁要旨： 小中学校における特別支援教育については、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）など、軽度発達障害の児童生徒が、顕在化していることから、特別支援教育体制の整備の充実が求められております。

県教育委員会としては、1つには「特別支援教育コーディネーター」の校務分掌への位置づけ、2つには「校内委員会」の設置、3つには「個別の教育支援計画」の策定等について各学校に対し、指導しているところであります。

平成17年度の設置状況は、「コーディネーター」は、すべての学校に位置づけられており、「校内委員会」は83.8%、「個別の教育支援計画」36.4%、となっております。

また、各教育事務所に巡回アドバイザーを15名配置し、支援しております。

(21) 学校における食育について

質問要旨： 平成18年度から九州の大半の県で、栄養教諭制度を導入する予定である。本県での栄養教諭制度の導入について教育長の考えを伺いたい。

答弁要旨： 平成17年度より栄養教諭制度が発足し、学校教育において、食育が重要となっている中で、その中心的役割を担うのが、栄養教諭であります。

県教育委員会では、平成17年の夏季休業中に免許取得に向けた認定講習を開催し、114名が受講、その内31名が栄養教諭免許を取得しております。

栄養教諭制度の導入については、平成17年10月に庁内担当者会議を立ち上げ、条例・規則の改正や任用形態など、課題の整理に努めており、平成19年度を目途に実施したいと考えております。

(37) 中高一貫教育校について

質問要旨： 与勝中高一貫教育の進捗状況と事業の説明についてどうなっているか

答弁要旨： 与勝高等学校に併設する中学校については、現在、地域特性を活かした特色ある学校づくりをめざし、教育課程の編成を進めるとともに、学校説明会や生徒募集に向けての諸準備に取り組んでいるところであります。

また、施設整備については、平成17年度内に校舎等の設計を終え、平成18年度には施設が完成する予定であります。

規模としては、校舎が3,404㎡、屋内運動場1,138㎡、水泳プール400㎡、武道場340㎡となっております。

また、校舎の建築工事と併行して騒音防止対策事業を予定しております。

○ 文教厚生委員会において以下の条例、議決事件及び陳情の審議が行われた。

条 例

乙第28号議案 沖縄県立高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例

(可 決)

乙第29号議案 沖縄県学校職員定数条例の一部を改正する条例

(可 決)

議決事件

乙第43号議案 指定管理者の指定について

(可 決)

陳情新規なし

陳情継続審議で審査未了となったもの

陳情平成16年第78号 知念高校に対し、私の娘の人権に最大限配慮するよう善処を求める陳情

陳情平成16年第79号 学校ボランティア制度の導入を求める陳情

陳情平成16年第80号 任意団体「学校父母会」への入会活動への協力を求める陳情

陳情平成16年第81号 知念高校に善処を求める陳情

陳情平成16年第82号 県（教育委員会）は、1991年4月1日にさかのぼって私に県職員（県立特殊教育諸学校実習助手）の身分と地位を与え、即時職場復帰させるよう求める陳情

陳情平成16年第83号 親の教育権を保障するよう知念高校に善処させるよう求める陳情